

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 第1回シンポジウム

■主催：レジリエンス研究教育推進コンソーシアム ■共催：筑波大学
■後援：地域安全学会、日本災害情報学会、日本自然災害学会、日本災害復興学会、
情報処理学会、電子情報通信学会、日本知能情報ファジィ学会、エネルギー・資源学会、
日本エネルギー学会、日本都市計画学会、土木学会、警察政策学会、日本市民安全学会、
日本情報経営学会、日本航空宇宙学会、キッズデザイン協議会、日本防災産業会議、
日本ネットワークセキュリティ協会、日刊工業新聞社(順不同)

平成30年12月14日(金)
14:00~16:50

■場所／嘉ノ雅 茗溪館 2階「茗溪」

東京都文京区大塚 1-5-23、
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩1分

第1部・第2部／参加費無料

我が国は世界的な自然災害大国である。

「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた安心・安全な国土・地域・経済社会、
すなわちレジリエンス社会の実現は急務の課題である。

本シンポジウムでは、企業、研究機関、大学の参画により2017年12月に
発会したレジリエンス研究教育推進コンソーシアムによる、
レジリエンス社会の実現に向けた取り組みを発信する。

レジリエンス研究教育推進コンソーシアムが目指すもの

安全・安心を創る



防災科研・林

第1部

自然・人間社会・サイバー空間に存在するリスクとレジリエンス

14:00~14:05 開会挨拶
清水 諭(筑波大学 副学長(教育担当)・理事)

14:05~14:30 自然災害のリスクに対するレジリエンスの向上
林 春男(防災科学技術研究所 理事長)

14:30~14:55 日本で起こる事件・事故に深く関わる「世間」という構造
甘利 康文(セコム株式会社 IS 研究所
リスクマネジメントグループ グループリーダー)

14:55~15:20 情報通信技術 (ICT) の進化とサイバーリスク
面 和成(筑波大学 システム情報系 准教授)

15:20~15:50 コーヒーブレイク

第2部

レジリエンス社会の実現に貢献する人材育成

15:50~16:00 コンソーシアムが推進する大学院教育
～協働大学院方式による新たな学位プログラム～
遠藤 靖典(筑波大学 システム情報系 教授、リスク工学専攻長)

16:00~16:45 コンソーシアム参画機関によるパネルディスカッション

16:45~16:50 閉会挨拶
谷 幹也(日本電気株式会社 セキュリティ研究所 所長)

情報交換会

17:30~19:00 (参加費 2,000 円、要事前登録)



筑波大学・面



筑波大学・遠藤

準備の都合上、12月2日(日)までに事前登録をお願いします。

情報交換会以外は当日参加も可能です。事前登録URLは下欄をご参照下さい。



スマートフォン対応
事前登録申し込み
QRコード

■コンソーシアム参画機関：セコム、大日本印刷、日本電気、スリーエム ジャパン、DRIジャパン、電力中央研究所、日本自動車研究所、電子航法研究所、
産業技術総合研究所、防災科学技術研究所、労働安全衛生総合研究所、国家災害防救科技中心(台湾)、筑波大学

■お問合せ：レジリエンス研究教育推進コンソーシアム事務局 TEL.029-853-4975 E-mail:r2ec@risk.tsukuba.ac.jp

■事前登録URL：<https://r2ec.jp/news/882/>